

開館3周年記念

卒寿を超えて「上前智祐の自画道」関連企画



■加藤義夫 かとうよしお インディペンデント・キュレーター

1954年大阪府生まれ。グラフィック・デザイナーやギャラリストを経て、インディペンデント・キュレーターとなり、展覧会の企画制作のほか新聞・雑誌で評論活動を展開する。現在、加藤義夫芸術計画室主宰、国際美術評論家連盟会員、朝日新聞大阪本社文化欄美術評担当。大阪教育大学・大阪芸術大学・大阪成蹊大学・京都精華大学・近畿大学・武蔵野美術大学で非常勤講師。あいちトリエンナーレ地域展開事業「アーツ・チャレンジ2013」キュレーター、ART OSAKA 2013 実行委員。



■笹木繁男 ささきしげお 美術研究者

1931年山形県生まれ。都市銀行勤務を経て、1994年現代美術資料センター設立。「前衛の四人展(安部公房・大野一雄・武満徹・中川幸夫)」(1994)、「山下菊二展」(1996)等を同センター及び画廊にて企画展示。この間美術資料を東京文化財研究所に寄贈。2003年紺綬褒章受章。2012年アート・ドキュメンテーション学会推進賞受賞。作家年譜(山下菊二・高山良策・上前智祐)、文献目録(具体美術・戦争と美術・久隅守景・藤田嗣治)編纂。著書「時代と刺し違えた画家・中村正義の生涯」(2011)。



■中塚宏行 なかつかひろゆき 美術評論家

1954年大阪府生まれ。大阪大学文学部美学科(美術史専攻)卒業。1977年より北海道立近代美術館(札幌)、北海道立旭川美術館、北海道立函館美術館の学芸員、学芸課長として勤務。1992年から大阪府現代芸術文化センター設立準備室、大阪府立現代美術センターを経て、現在大阪府都市魅力創造局文化課の主任研究員(美術総括)。美術評論家連盟会員。著作集「美術/漂流 学芸員Nの30年」(2007)。展覧会「描かれた文字/書かれた絵」(1989)、「上前智祐」(1999)ほか多数。



■堀尾貞治 ほりおさだはる 現代美術家、元具体美術協会会員

1939年神戸市生まれ。1965年具体美術協会会員となり、1972年の解散まで参加。1985年頃から「あたりまえのこと」という一貫したテーマのもとに年間100回に及ぶ個展、グループ展、パフォーマンスを国内外で行っている。展覧会「堀尾貞治展あたりまえのこと」(2002、芦屋市立美術館)、「In Finitum Palazzo Fortuny, Venice」(2009、イタリア)、「Frankfurter Positionen ATARIMAE-NO-KOTO」(2011、ドイツ)ほか多数。



《作品》2003年 シルクスクリーン・紙



《縫立体12》1985年 布、糸

放談

Chiyu Uemae

2013.1.27 [日]

14:00-15:30 (開場:13:30)

定員: 80名(先着順) 聴講無料

会場: シマブンホール/BBプラザ4F

お問い合わせ: BBプラザ美術館 [Tel 078-802-9286]

進行: 坂上義太郎 BBプラザ美術館顧問、本展覧会企画

加藤義夫・笹木繁男・中塚宏行・堀尾貞治が語る〈上前智祐の人と作品〉

現在BBプラザ美術館では、92歳を超えてなお新しい美術表現に挑み続ける現代美術家・上前智祐氏の展覧会を開催しています。

上前氏は、具体美術協会の創立から解散まで在籍した数少ない会員のひとりとして知られ、

その緻密で独創的な作品群は、今まさに内外で脚光を浴びています。

本企画は、具体が解散して40年が経過した今日、改めて具体時代と

それ以降の、氏が歩みつけてきた軌跡を振り返ろうという放談の集いです。

今回は、上前氏の“人と作品”を長きに亘り見つけてきた加藤義夫氏、笹木繁男氏、中塚宏行氏、堀尾貞治氏の4名をお迎えし、

それぞれの視点で自由奔放に上前芸術の魅力を語っていただきます。

後半にはご質問も承りますので、皆さんもご一緒に上前作品のこと、具体美術のことをお話してみませんか。

どうぞお気軽にご参加下さい。



BB Plaza
MUSEUM of Art
BBプラザ美術館

〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号BBプラザ2F TEL 078-802-9286
交通のご案内: 阪神岩屋駅改札を出てすぐ南側 JR灘駅より南へ徒歩約3分 阪急王子公園駅より南へ徒歩約10分 駐車場あり